

『医療の質と活動の実態調査・改善事業について』

当院では病気の原因解明、病気の予防・診断・治療の改善、患者さんの生活の質の向上のなどのため、研究機関と協力をして医学研究等を行っております。

研究機関には当院を受診した患者さまの外来および入院診療に関するデータを完全に匿名化した状態で収集して、客観的に分析し、医療や施設運営の質を一層向上させることを目指しております。

皆様には医学研究へのデータ提供にご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します

研究参加と既存情報の提供についての公開情報

- ①（試料・情報の利用目的及び利用方法、他の機関へ提供方法）：
匿名化された診療報酬データ（DPC データ）を、医療の質と活動の実態調査を行い公衆衛生の向上に与する目的に、暗号化通信による電子的送付あるいは追跡可能な宅配等により、京都大学へ提供する
- ②（利用し、又は提供する試料・情報の項目）：
厚生労働省により規定され作成された DPC データ（年齢・性別、病名、手術・処置・薬剤等の種類、外来受診回数、入院期間、医療費など）
- ③（利用する者の範囲）：
「医療の質と経済性に関する実態調査」を実施する研究者
研究責任者：京都大学大学院医学研究科医療経済学分野教授 今中雄一
研究実施体制は研究責任者によるホームページをご参照ください
<http://med-econ.umin.ac.jp/disc/>
- ④（試料・情報の管理について責任者）：
渡辺胃腸科外科病院 担当責任者 田尾 友哉

本件に対するご質問・ご意見は、ご遠慮なく事務部 田尾まで、お問い合わせください。